

UTeMにおけるPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年08月21日 ~2023年08月28日	マレーシア	マレーシア・マラッカ技術大学 イスラム工科大学 浙江工業大学 スラバヤ工科大学 リアウ大学 湖南工学院 セブルーノベンパー工科大学	機械工学科、 機械機能工学科、 材料工学科、 応用化学学科 学部1年生、 学部2年生、 学部3年生、 学部4年生	(芝浦工業大学) 学生4名、教員1名 (マレーシア・マラッカ技術大学) 学生9名、教員4名 (イスラム工科大学) 学生2名 (浙江工業大学) 学生24名、教員1名 (スラバヤ工科大学) 学生1名 (リアウ大学) 学生5名 (湖南工学院) 学生2名 (セブルーノベンパー工科大学) 学生1名	高崎 明人



図1 会場の様子

本 PBL は、対面のプログラム前の 8/16~19 までの4日間については、オンラインで実施され、その間、グループ分け、課題設定(洪水防止壁の提案、3D プリンタによるモデル作製及び実験(flood barrier design using 3D printer))及びデザイン工学の立場からの効果的な課題への取り組み方等のレクチャーが UTeM の教員から行われ、さらに、学生グループワークもブレイクアウトルームを用いて行われた。

対面の PBL は 8/21 から始まるため、8/20 の午前中に本学学生 4 名(機械機能学生 2 名、応化学生 2 名)と共に成田を出発し、クアラルンプール空港には同日夕方に着した。その後、学生は、中国人のグループと共に UTeM のホテルに移動した。8/21 午前は、学生間の ice breaking と PBL 活動で、午後から開会式が行われ、その後、UTeM のキャンパスツアー企画された。今回の PBL は本学以外にも中国、インドネシアの大学から UTeM も含めて計 6 大学、学生総数は 49 名の参加で、8 グループに分けて PBL 活動が進められた。

最終プレゼンでは、学生グループが 3D プリンタにより作製した flood barrier 及びプレゼンに対して評価が行われ、Grand Dinner 時に優秀なグループの表彰が行われた。PBL 後半は、ホームステイ体験やフィールドトリップが企画され、学生は他の学生と共にマレーシアの文化を体験すると共に交流を深めることができた。